

## (有)笠取ファーム 代表取締役

## 久世谷幸男さん

## 明日へ向かって駆ける

## 農業法人の経営者は語る

「アクトパル宇治は、豊かな自然を思う存分に満喫できるいろいろなイベントや農業体験教室などで人気を集めている。来場者も毎年増え、昨年8月には累計利用客150万人を達成した」と胸を張るのは、宇治市笠取地区の「(有)笠取ファーム」代表取締役、久世谷幸男さん(77)だ。

同社が掲げるテーマは「自然とのふれあい、自然の中での交流」。市が1999年に開設した宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」(現在は公益財団法人)で、主に施設の運営受託、体験農園の運営を行っている。

久世谷さんは地域の活性化につながる目的で、施設を管理・運営

できる同社を地区内住民と立ち上げた。以前から、地元農家で組織する笠取観光農業推進会が行っていた芋掘り体験などのノウハウも生かされている。久世谷さんは「何も分らずスタートしたが、地元の方が職員として働くことで、雇用を生み出した。同時に地元だからこそできる、きめ細やかな対応が活性化と法人経営の安定化につながっている」と話す。

現在同社では、公益財団法人と

連携して、施設の維持管理(清掃など)、食堂、売店、体験農業に加え、7年前からグラウンドゴルフ場管理の5



▲アクトパル宇治の管理運営を担う久世谷さん  
Ⓔと常務取締役の倉谷喜治さん

事業を行う。「四季を通して豊かな自然を満喫できる施設として人気が集まり、昨年は市内11の保育園・幼稚園の園児1400人が訪れた。他府県からも多くの来場があり、年間来場者は11万人を超す」と久世谷さんは言う。

同施設での取り組みとは別に、同社が独自に近隣農地を借り受け、5㏍を50区画に区切って貸農園として運営もする。「自分で農業をやりたい」という利用者ニ

ズに応えた。体験農場や貸農園、施設内で使う肥料や農業用資材は、JAを利用する。

「多くの子どもがアクトパル宇治に来て、いろいろなイベントに参加してもらうことで、農業に触れるきっかけになってほしい。将来は農業に興味を持って地域に根付いてもらいたい。今後は、地域農業がより活性化する活動を行っていく。少子高齢化や鹿、イノシシなどの鳥獣被害の増加など課題が山積する中で、地元農地や農業を守る取り組みも考えていく必要がある」と久世谷さんは意欲的に話す。

.....

■法人所在地 宇治市西笠取辻出川西1番地。(電)075(575)3520。

■法人概要 1999年2月1日設立。取締役7人、監事2人、顧問1人、パートタイマー21人。アクトパル宇治の施設敷地9畝、体験農園60㏍、貸農園5㏍。農業機械 芝刈り機1台、草刈り機2台、農業散布機1台、軽トラ2台。アクトパル宇治は月曜休所日(祝日・夏休み期間は営業)。

## 農に親しむ場つくる